



卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

自分が源泉

卒業生には毎年同じ内容を卒業式で伝えています。昨年も聞いた内容だと思っていた卒業生がいるかもしれませんが、そうであれば嬉しいです。私が小中学生の頃、町長さんの祝辞はいつも3つのお願いでした。児童生徒は今年も3つのお願いが出ると予測しています。それは毎年聞いているから記憶にしっかり残っているのです。在校生の皆さんが卒業式で祝詞の先を読めたなら、卒業に向けて意識して欲しいことをしっかり記憶に留めていることの証です。

祝詞の内容を短くして記載します。どれくらい記憶に残っているのか確認してください。「新しい時代に旅立つ皆さんに『自分が源泉』ということをお伝えします。源泉とは、水や温泉が湧き出る所、物事が生じる所です。つまり、自分から全ての物事が始まっている、ということ。」

新しい生活では、うまくいかないことや失敗することもあるでしょう。このとき、重要になるのが受け止め方です。うまくいかない理由を他人や環境のせいにとすると、気持ちは楽になるかもしれませんが、解決も進歩ありません。他人も環境も自分が思うようには変わってくれません。自分で変えることができるのは自分自身の気持ちと行動です。一つでも条件が異なれば別の結果が待っているかもしれません。何事においても、自分が何らかの係わりを持っている、あるいは影響を及ぼしているという立場で結果を受けとめるならば、それが悪い結果であったとしても自分で創った結果は自分で創り直すことができます。

大切なのは、言葉の使い方です。無意識のうちに使っている言葉の中に、私たちの意識のあり方が明確に現れています。責任を自分以外に求める言葉を使っていることに気づいたら、言葉を置き換えてみてください。きっとみなさんを主体的な人生の歩みへと導いてくれます。自分一人だけが幸福であることはあり得ません。周囲の人々も幸福であってこそ、自分自身も幸福でいられるのです。自分が源泉となり、周囲への関わりを持ち、共に幸福であってください。『自分が源泉』とは、『主体的に生きること』とも言えるでしょう。」

一般入試が始まります。この期間はお休みさせていただき、次回は18日(火)に発行します。

校長 松川 明義

【行事予定】

5日(水)：3限授業＋大掃除、生徒校舎内立入禁止(12:40～)
6日(木)～7日(金)：一般入試、生徒登校禁止(6日～7日14:00)
7日(金)～16日(日)：生徒校舎内立入禁止
17日(月)：短縮授業6限、卒業生による進路講演会、SPI模試

